

船堀第二小学校応援団活動実践報告書

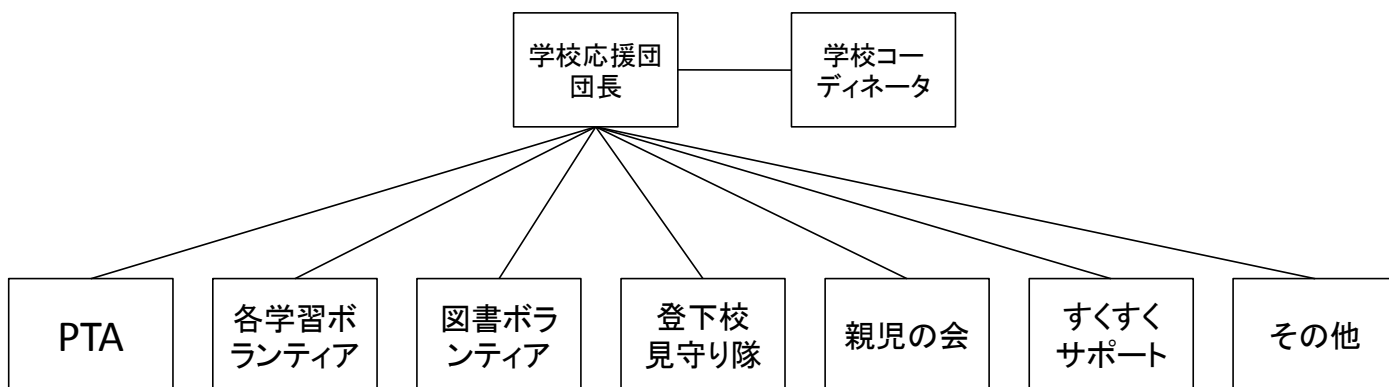
1 校長及びコーディネーター氏名

船堀第二小学校長 川又 弘
 コーディネーター 生井 敏昭

2 今年度の活動内容

| 応援団の種類 | 応援団の名称 | 活動内容 |
|--------|-----------------------|--|
| 学習支援 | 学習ボランティア ゲストティーチャー | <ul style="list-style-type: none"> ● 3年小松菜授業の授業支援 ● 1年環境学習の授業支援 ● 2年人形劇教室のゲストティーチャー ● 4年海苔すき体験のゲストティーチャー ● 5年和凧作り教室のゲストティーチャー ● 手芸クラブの活動支援 ● 日本文化クラブの活動支援 |
| 読書活動支援 | 図書ボランティア | <ul style="list-style-type: none"> ● 図書室の整備や本の整理 ● 読み聞かせ活動の実施 |
| 安全支援 | 登下校見守り隊 | <ul style="list-style-type: none"> ● 登下校の際の児童の安全確保 |
| 体験活動支援 | 親児の会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 花火大会の実施 ● サマーキャンプの実施 ● 餅つき大会の実施 ● 焼き芋大会の実施 |
| 行事等支援 | PTA | <ul style="list-style-type: none"> ● 入学式・卒業式の来校者の誘導支援 ● 音楽会鑑賞者の入退場整理支援 |

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- 学習ボランティアやゲストティーチャーが、各学年の様々な学習への専門的な立場から支援してくれたので、学習が児童にとって臨場感のある体験活動の場や具体的な問題解決の場となった。
- 図書ボランティアが毎週、休み時間に読み聞かせをしてくれたので、本が好きになった児童が増えた。また、図書室の整備や本の整理をしてくれたので、読書活動が充実した。
- 町会の人たちが登下校見守り隊として、日々、横断歩道等に立ってくれたので、児童の安全が確保できた。
- 親児の会がさまざまな体験活動を企画・運営してくれたので、児童の体験の場となるとともに、他と今日協力する姿勢等が育った。
- P T Aの人々が音楽会等で誘導・整理にあたってくれたので、3 0 0 0人近くの参観者が来る大規模校でも円滑な運営ができた。

<課題>

- 学校のニーズに即した学校応援団の一層の拡大。
- 学校と学校応援団の間の調整のための「コーディネートを進め方」の明確化。
- コーディネーターの支援や学校応援団との調整をするための「校内組織」の充実。

5 コーディネーターより

今年、特に私が印象に残った学校応援団の活動は次の3つです。

1つは、子どもたちが楽しみにする行事です。P T Aとして大きなお祭り「スマイルフェスタ」をはじめ、「親児の会」主催のサマーキャンプ、花火大会など、「すくすくスクール」を中心としたおぼけやしき&ゲーム、フラッグフットボールなど、楽しい行事がたくさんありました。2つは、読み聞かせボランティア・図書ボランティアの活動です。来年度からの「読書科」実施も含めて、今後さらに力を入れていく分野と考えます。3つは、地域の安全安心に関する活動です。毎朝、船堀6丁目町会見守り隊は交差点で子どもの安全を見ていただきました。また、年に2回、学校・地域・保護者が一体となって安全安心パトロールを行いました。今後も、子どもたちのために、地域と一緒に活動の盛り上げていきたいと思えます。

6 学校長より

小松菜の学習、海苔すき体験、和風作りなど、専門的な立場からの学習支援や、図書ボランティアによる読み聞かせ、親児の会の様々な行事、安全見守り隊やP T Aの皆さまの献身的な支援により、本校は充実した教育活動を行うことができた。

こうした学校応援団の皆さまの姿を通して、子どもたちは、「地域や伝統」、「周囲の人々に貢献する姿勢」「他者と協力する姿勢」なども学ぶことができた。

今後は、様々な立場から学校を応援してくださる皆さまの活動や思いを尊重しながら、学校応援団という組織を有機的に機能させていくことが鍵となる。そのために、本年度より設置した「学校応援団推進委員会」を、さらに充実させ、子どもたちの「学び」を創造していきたい。